

27 洋裁 Ladies' Dressmaking



既製服の合理的製法に注目! 10時間でジャケットを制作

高度な技能からつくりだされる婦人服デザイン画と仕様書に基づき、支給された材料を裁断、縫製、アイロンがけして、2日間かけてジャケットを制作する競技です。10時間という制限内で、シルエット、身ごろ、えり、そで、手まつり、糸くずや汚れ、安全衛生・作業態度、全体の仕上げといった採点項目で競い合います。ポケットは、国際大会のルールに近づけるため、2種類の細かいデザインから1つが選ばれ、当日発表されます。



当日課題はどちらか?

細かいデザインを素早く美しく仕上げる

細かいデザインのポケットに注目。当日発表課題となる腰の丸みに添わせるようにつける「フラップポケット」、「アウトポケット」の二種類は、どちらも高度な技術が必要です。素材・色・デザインと変化の多い婦人服は、確かな技術・技能のもと、手作業で課題をクリアしていかなくてはなりません。注文服作りの店舗が減っているいま、存続の鍵となる既製服の合理的な製法が求められます。



競技について

競技時間 2日/10時間

今年の競技課題は高い課題が詰まった「テーラードカラーのジャケット」を、仕様書をもとに製作します。上衿、ラベル、前端から裾に流れるなめらかな曲線、それぞれの線を、左右均等に仕上げる技術が求められ、身頃のシルエットや袖の形状はアイロンでのくせとりで美しい形に仕上げます。作品は、人台にフィットし、シルエットが美しく表現されていなければなりません。



参考: 第58回技能五輪全国大会 競技課題

競技職種と生活との関わり

日常生活から、結婚式などの各種パーティーの場に至るまで、女性のおしゃれ心を満たしてくれる婦人服。季節や場面に応じて様々な素材、色、デザインで、個性や魅力を引き立たせています。洋裁職種とは、このような美しさ、心地よさ、機能性などを兼ね備えた婦人服をオーダーメイドで作り上げる高度な技能が求められる職種です。時代の流れと共にファッションは限りなく変わり続けます。婦人服と共に歩む技能者の未来も、限らない可能性に満ちています。

2019年大会の成績

第57回技能五輪全国大会出場時点 / 2019年11月

金	和洋学園専門学校	井手 恵理華さん(熊本県)
銀	(株)TSIソーイング	田代 まどかさん(宮崎県)
銅	専門学校岡山ビジネスカレッジ	水上 実咲さん(岡山県)
	(株)三和ドレス	北嶋 美加さん(岩手県)
	(有)アイ.エヌ.ティソーイングルーム石田	伊藤 瑠璃さん(大分県)
敢闘	専門学校岡山ビジネスカレッジ	高森 江梨奈さん(岡山県)
	専門学校岡山ビジネスカレッジ	奥田 あみさん(岡山県)
	佐藤繊維(株)	木内 美結さん(山形県)
	(学)下関文化産業専門学校	勝原 椎菜さん(山口県)

金賞
井手 恵理華さん
和洋学園専門学校



2019年大会
競技課題

ルレット & ピンクッション
しるしを付ける道具 & 針をさしておくもの



アイロン
縫い代をきっちり
押さえるために使う道具



ハサミ & Xジャー

